



バイオナックと次亜による SUS（ステンレス）腐食耐久試験

1) 評価方法

- 試験部材：SUS304（30×40×0.5mm）、試験繰り返し各水準2回
- 試験洗浄剤：バイオナック及び6%NaClO（各50倍、5倍希釈液）
- 試験方法：55℃試験液中、14日間浸漬（3日間毎に新液交換）



2) 評価結果：図 4、5 に示した。

次亜塩素素、バイオナック 50 倍 希釈液に 14 日間浸漬		
-	次亜塩素素 6%	バイオナック
外観	 50 倍 14 日で腐食浸食、発生	 50 倍 14 日で腐食浸食、無
腐食度 (gmh)	0.0311	0.0002
侵食度(mm/y)	0.0344	0.0002

図 4 SUS304 劣化試験後の試料外観および腐食度、侵食度測定結果

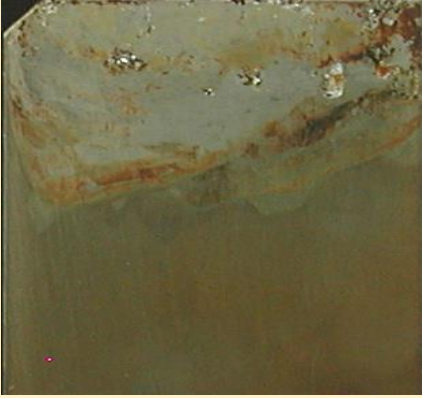
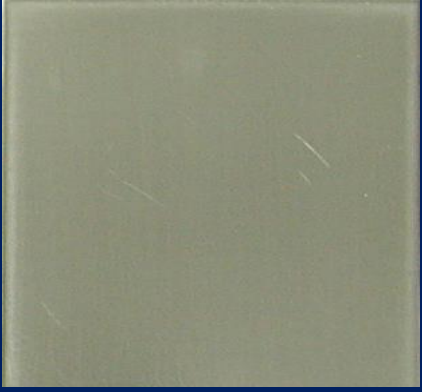
次亜塩素素、バイオナック 5 倍 希釈液に 14 日間浸漬		
-	次亜塩素素 6%	バイオナック
外観	 5 倍 14 日で腐食浸食、発生	 5 倍 14 日で腐食浸食、無
腐食度 (gmh)	0.1324	0.0003
侵食度(mm/y)	0.1450	0.0003

図 5 SUS304 劣化試験後の試料外観および腐食度、侵食度測定結果



3) 結果の要点

: バイオナックの **SUS304** に対する**腐食**は、
次亜よりも大幅小さく、孔食の発生も認めらなかった。

大阪市淀川区西中島 1-9-16
アキロン株式会社

